

平成28年11月14日(月)

老球の細道283号

ゲームマネジメント (IX) タイムアウトで話す内容

会津バスケットボール協会 室井 富仁

今は昔、テレビ放映ゲームで勝敗が決定しているのに、勝っているチームのコーチが最後にタイムアウトをとることがあった。周囲はテレビに映りたいからかなと噂をしていたが、コーチにとっては最後まで気をゆるめさせないメッセージがあったのかもしれない。タイムアウトをとっても何も話さないコーチもいる。選手の自主性を重んじているのか、私の現役時代のように怒り心頭で何も話したくないのかもしれない。

バスケットボールというスポーツはコーチの影響が大きいスポーツである。コーチの関与によってゲーム内容が大きく影響する。ゲーム中はコートサイドで常にコーチングができる。そして、タイムアウトにいたっては、ゲームの流れを変え、コーチの戦術を的確に選手に伝えられるコーチの重要なスキルである。コーチも一緒に戦っている。

タイムアウトは限られた回数しかとれず、短い時間しか話すことしかできない。チームを立て直すのにどんな対策が必要か、短時間の間に的確な指示ができなければならない。タイムアウト後ははっきりと効果が見られなければタイムアウトは失敗となる。

タイムアウトでコーチたちはどのようなことに注意して話をしているのだろう。

1・基本3原則

- ①伝える内容は、より少なく、よりシンプルに、より具体的に。一つがベスト、多くても3つまでと言われる。
- ②伝える優先順位は、悪い所を修正することよりも、こうすれば自らのリズムになるという事を優先させる。「このようにしよう！」
- ③戦術は作戦ボードを使って。言葉だけよりはボードを使って説明した方が選手には理解しやすい。その際、オフェンス、ディフェンスの指示によってボードのコートデザインの位置を変えなければならない。

2・具体的な内容

- ①オフェンスの修正、立て直しのポイント：アウトサイドだけのシュートになっていたり、パスを外だけで回すだけになったりしたときに、ドライブやポストへパスをつないでインサイドを攻撃する指示を出す等。
- ②相手のディフェンスが変わったときのオフェンスの指示：マンツーマンからゾーンに変わった時、プレスディフェンスに変化した時は、攻め方をチームとして統一する。
- ③相手のオフェンスの止め方、崩し方：効果的なディフェンスの方法を指示する。相手のセンターに対するダブルチームの指示、ポイントゲッターに対するダイナミの方法等。
- ④相手のタイムアウトで効果的なディフェンスの指示：マンツーマンからゾーンに変えたり、プレスをしかけたりして、タイムアウト後の相手のオフェンスを狂わせる。成功したらそのディフェンスを続ける。
- ⑤メンタル面の指示：弱気になっていたり、緊張していたり、集中力が欠けているときは、落ち着かせたり、気合をいれたりする。怒ってはいけない。ゲームは勝利のために全力を尽くすことが礼儀であり、そこからたくさん学ぶ。

(完)